

November 6, 2024

大学院学生各位
To All Graduate Students

2024 年度

基盤医学特論 開講通知

Information on Special Lecture Tokuron 2024.4-2025.3

題目： 活動依存的シナプス回路発達の分子機構
Title: Molecular mechanism of activity-dependent synaptic circuit development

講師： 渡辺雅彦先生

(北海道大学大学院医学院 解剖学分野 解剖発生学 特任教授)

Teaching Staff： Masahiko WATANABE

(Hokkaido University Graduate School of Medicine, Department of Anatomy, Anatomy and Embryology, Specially Appointed Professor)

【講義の要旨】

プルキンエ細胞の樹状突起は登上線維と平行線維による興奮性（グルタミン酸作動性）入力を受けている。そのシナプス回路特性とは、登上線維による単一支配と分離した神経支配のテリトリーである。

この2つの回路特性が、

- 1) シナプス刈り込みを駆動する細胞内 Ca^{2+} 濃度制御機構、
- 2) シナプス回路を強化する接着機構、
- 3) 細胞外グルタミン酸除去機構による協同的な分子機構により形作られることを紹介する。



日時：令和6年11月18日(月) 16時00分より (90分)

Time and Date: November 18 (Mon.), 2024 16:00~ (90 minutes)

場所：基礎研究棟4階 第4講義室

Room: lecture room 4 (Basic Medical Research Building, 4th floor)

言語：日本語

Language: Japanese

※関係専門分野・講座等の連絡担当者：和氣 弘明

機能形態学講座分子細胞学分野 (内線 2004)

Contact: Molecular Cytology, Division of Hiroaki WAKE (Ext. 2004)

(事前の申込みは不要です。No Registration Required.)